

自己評価

保健安全部 教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自らが運動に親しみ、健康や安全に留意しながら学校生活を送るための知識や意欲、態度を育成する。 校内安全管理、災害対策を行い、事故のない安心・安全な教育環境の充実に努める。 	
評価する領域・分野	安全、緊急時の対応、医療機関との連携、健康管理	
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の「学校の先生は、生徒の安全に気を配っている。」では、80%以上「あてはまる」の評価を維持している。保護者・学校評議員の「学校は、生徒の安全に気を配り、緊急時の対応がしっかりしている。」でも80%以上の「あてはまる」の評価であり、「わからない」の評価は昨年度より2.2%減少した。「学校は、医療機関と連携を図っていて、生徒の健康管理に気を配っている。」では、「わからない・未回答」が昨年度より約12%減少した。 	
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 本校生徒の課題に即した保健教育を充実させるとともに、学校環境の衛生管理に努める。 スポーツ大会等の学校行事や保健体育の授業を充実させる。 様々な想定での各種訓練を実施し、命を大切にできる生徒を育てる。 施設管理、校内美化を推進し、公共物を大切にできる態度を育てる。 災害時に適切な対応ができるよう地域と一体となって防災力を高める。 	
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> 保健、体育、防災、環境の4項目を重点目標に関連付けた業務分担を行う。 担任や生徒会(委員会)と連携して、保健や安全、環境衛生の維持、改善に努める。 地域、学校、専門家が連携した、危機管理体制を確立する。 	
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> 様々な想定での訓練を実施し、適切な判断や行動ができるようにする。 年間計画を作成し、各分野の専門家の協力を得て、食育、性教育、防災教育を推進する。 外部講師を活用した各種研修を設定する。 	
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、職員の健康や安全に対する調査を行い、継続的な取り組みの状況を確認する。 各取組に対する改善アンケート(職員)の分析結果と改善点の提示 	
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> 【保健】性教育研修(職員)、性の相談週間、性のLHR、緊急時対応訓練、保健日より発行 【体育】新体力テスト、スポーツ大会、食育セミナー、職員健康研修 【防災】命を守る訓練、非常変災時対応訓練、ぼうさい通信発行 【環境】安全点検、備品管理と整備、清掃(日常・定期) 	
評価の視点		評価
<ul style="list-style-type: none"> 訓練や研修等の体験的な活動を通して、生徒が健康で安全に生活することができたか。 職員の安全に対する危機管理意識、専門性を高めることができたか 安心安全な学校となるための危機管理体制を整備することができたか。 		(A) B C D A (B) C D A B (C) D
成果・課題		総合評価
<ul style="list-style-type: none"> ○性教育、食育、防災は年間計画を立て、専門家と連携し、一貫して取り組むことができた。 ○様々な想定での命を守る訓練や学校周辺危険個所の見直しから、防災意識を高めることができた。 ▲性教育では、社会生活に役立つ学習内容の見直しと、継続性のある学習計画を作成する。 ▲避難所開設に必要な行政と地域、学校との連携を早期に実施し、学校、地域、生徒と保護者が一体となった防災訓練を実施できると良い。 		A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> 性教育の計画を見直し、将来に役立つ内容の精選と取組を実施する。 衛生、食育、防災教育を社会生活に役立つ内容を見直し、一貫した取組を実施する。 行政、地域、学校が連携した防災体制の確立と訓練を実施する。 	

学校関係者評価 (令和2年2月27日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> 性教育は将来に結び付く知識になるため、3年間で計画的に行い、確実に学習を進めてほしい。 防災を地域と自治体で行えるように、計画を立てて行えると良い。
-----------	---